

高齢者の移動手段確保のため、デマンド型(予約型)乗り合いタクシーの検討を



田中正男



問 高齢者が元気に暮らすためには、高齢者の自由な行動を支える公共交通、移動手段として、デマンド型(予約型)乗り合いタクシーは有効と考えている。令和5年度に予定している第2期地域公共交通基本計画策定に向けて、高齢者の移動手段確保としてデマンド型乗り合いタクシーの導入について検討する考えは。

答 現行の伊豆の国市公共交通基本計画では、具体的な方策として高齢者デマンド交通等の導入を掲げている。次期計画でしっかりと検討して対応していきたい。

有機農業推進に一層の努力を

問 市は令和4年度から開始し、5年度は実証圃場での講習会を予定している。有機農業の推進では、どのような栽培方法を基準として推進するのか。

答 有機農業推進法で定義している、化学肥料及び化学農薬を使用しないこと並びに遺伝子組換え技術をしらないこ

とを基準として、有機JAS認定にこだわらず推進していく。

問 有機農業推進では、どのような目標をもって取り組むのか。

答 市内で最も多く行われている水稲栽培に関する目標は、学校給食米に対応できる生産量を確保したい。野菜については品種も多岐にわたり、現段階では目標を設定することは難しい。

問 有機農業の推進には農家の理解協力は当然だが、消費者の理解も大事だと考えている。消費者の理解への啓もう啓発は。

答 令和5年度には、実証圃場等で収穫された有機農産物を使用した収穫祭等のイベントの開催を計画している。当該取組等を通じ、消費者の意識を変革し、有機農業に対する理解を深めていく。

小・中学校の女子トイレ個室へ生理用品の設置を



三好陽子



問 近年、生理の貧困問題は顕著である。全国の715市町が防災備蓄品などを活用して、公共施設や学校などに生理用品設置の取組を実施している。市内の小中学校での実施状況は。

答 防災備蓄品の更新に伴い、これまでに2回ほど生理用品を小中学校に配布した。大仁小学校は高学年の女子トイレに常時設置した。それ以外の小中学校では、保健室で保管の上、必要な児童生徒に配布している。

問 生理用品が足りない時に「友達に貸してほしい」と言いにくい「保健室にもらいに行くのは恥ずかしい」など非常にデリケートなことを抱え悩んでいる児童生徒がいる。保健室だけでなく、トイレが必要な時に使える環境整備が必要ではないか。

答 友達や先生に声をかけることなく生理用品を気兼ねなく使える環境整備が望まれていることは承知している。状況を鑑みながら今後の対応を検討する。

公共施設は市民ニーズに沿った再配置に

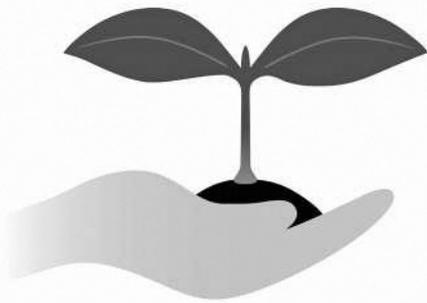
問 公共施設は、市民に欠かすことのできないもの。令和4年度、公共施設再配置計画の見直しを行っているが、心配される文化施設や高齢者福祉施設の統合についての検討状況は。

答 2つの文化施設と3つの集会施設を令和8年度までに一つにする計画だったが、利用実態調査と劣化状況調査の結果、当面は現行施設を活用し、計画期間の後期に再配置を検討する。

問 高齢者福祉施設は、「高齢者福祉施策のあり方審議会」に諮問。同審議会の答申を受けて見直す考えである。

問 公共施設等総合管理計画は、延べ床面積を25%削減する目標だが、今回の見直しでどうなるのか。

答 目標達成ができない可能性もあるが、計画期間は20年以上あり、社会情勢も変化するので変更する理由はない。



野良猫ゼロに向け、現状の問題点と新たな取り組みの提案



山口貴子



問 現在の猫の問題は無責任な飼い主の飼養方法や餌やりであるが、市の対処方法は。

答 市は強制力を持つ権限が無いので、県やボランティアと連携を図り、原因者に指導をしていく。

問 猫の問題は野良猫から飼い猫へとフェーズが変わったことから、猫の不妊手術費助成金事業の要綱の改正や、ペットの適正管理要綱を策定するなどの次のステップへの考えは。

答 助成金事業については、現在運用面の支障が無い事から見直しは考えていない。要綱についても県の条例等に則り進めているので考えていない。

問 高齢者が複数の猫を残し施設に入所するなどの問題も多い現状をふまえ、環境部局だけでなく福祉部局との連携をするべきと考えるがいかがか。

答 高齢化の進展に伴い、高齢者の相談も増えている。これまでも連携をしてきたが、ボランティアも含め、連携体制を強化していく。

脱炭素社会を目指す施策の進捗状況について

問 2021年度まで行われていた「第3次地球温暖化対策実行計画」の取組結果の評価は。

答 温室効果ガスの排出量は、基準年度の2015年度比で目標値を上回る17.3%削減を達成したことから、一定の効果が有ったと判断している。

問 市の事務事業については目標達成だが、市全体としてはどうか。

答 市全体に関しては、令和4、5年の2カ年で実行計画等の見直しをかけているが、計画通りに進んでいない現状がある。

問 設置時のCO2排出量が最も少なく、発電時にCO2が発生しない「小水力発電」の導入に向けた基礎調査の進捗状況と今後の方向性は。

答 深沢川の6地点を調査し、2地点の可能性のあるポイントを抽出した。令和5年度は事業者の参入を想定して説明会を開催し、事業化に向けた検討を行う。



山梨県北杜市 小水力発電取水河川

公共施設の今後について



小澤五月江



問 公営住宅(岩戸・三福・田京・狩野川)のそれぞれの機能廃止の状況と解体費用と跡地利用の考えは。

答 岩戸団地は解体済。解体費用約3840万円。三福は令和4年度解体。費用約3710万円。田京と狩野川は今後解体予定。狩野川の見積もりでは約2910万円。いずれも住宅跡地の活用方法は決定していない。

問 長岡南浴場を民間団体に移管する方向性の進捗状況は。

答 今年度、民間移管に向けて、利用実態や利用者意向を把握するための実態調査をおこなった。利用者は年間1万人程度。地域住民の高齢者が多い。課題もあるので、相手先の計画もある中、それを踏まえて今後検討していく。

問 長岡北浴場の跡地利用については計画があるのか。

答 利活用方法は決定していないが速やかに検討する。
問 未利用地を有意義に利活用できる

よう、スピード感もち検討すべきでないか。

答 管財営繕課を設置し体制を強化して利活用を検討していく。

問 高齢者福祉施設に関する機能統合の検討状況は。

答 来年度審議会等で検討を行う。施設利用者の状況、施設を統合した後の需要を賄えるか、また、施設へのアクセスの可能性を整理する内容。

問 高齢者温泉交流館の高齢者という部分を取ることができるか。

答 補助金の縛りの期間は過ぎたのでできる。

問 高齢者福祉施設の名称を変更してごちゃまぜ(障がい者や子どもも高齢者)に過ごせる居場所づくりができればいいか。

答 高齢化が進展する中において検討に値する提案である。しかし、収容能力や現行の利用者が何らかの不利にならないか慎重に検討する必要がある。要点を整理した上で審議会に諮りたいと考える。



やすらぎの家

中学校における部活動時間の見直しと部活動の地域移行について



長谷川 浩



問 部活動の時間短縮の目的は。

答 生徒の生活へのゆとりと、教職員の働き方改革を推進するため。

問 放課後の長時間の部活動が生徒に与えている負担とは。

答 時間的また体力的な負担が生じており、これを軽減するため。

問 生徒が望んでいる家庭学習と学校外で自ら取り組みたいことは。

答 学習の機会は、学校活動以外の家庭や地域社会の中にも数多くある。

問 適度な頻度・時間で行える等の多様なニーズに応じた環境とは。

答 興味や関心を深く追及できる機会と、自己決定できる環境をつくる。

問 中学校の部活動で学ぶものとは。

答 挑戦することの大切さ、楽しさや喜びを味わうことができる学びの場。

部活動の地域移行について。

問 時間の見直しと、国の部活動の地域移行をどのように捉えているか。

答 教育課程の工夫を図り、生徒の自

主性、選択の自由を広げ、最終的には地域移行につなげていきたい。

問 地域移行をした場合の課題は。

答 移行先となる受け皿が少ない、ケガ等があった場合の補償と責任の問題、保護者負担が発生する可能性がある。

問 地域移行は教員に影響があるか。

答 個別指導や相談の時間が増え、負担は軽減・減少する。

問 部活動の地域移行の受け入れ先には、どのようなものがあるのか。

答 スポーツ少年団、スポーツ協会や法人が運営するクラブチーム、指定管理者等。文化活動は、市文化協会、生涯学習きっかけ作り塾の講師、生涯学習サポーター等。

問 伊豆の国市の部活動の地域移行の見通しは。

答 持続可能な受け皿を整えた上で移行を進めたい。本年度は各種団体との意見交換やアンケート調査を行い、スポーツ推進計画の策定を予定している。令和6年度以降に、段階的にできるものから地域移行を行っていく。



環境保全型農業振興策でオーガニックビレッジ宣言を



高橋隆子



問 令和5年度に向けた施政方針で

「農業振興については国も施策を強化しており、本市でも有機農業の普及促進と脱炭素社会への取組を図る」と表明した。「みどりの食料システム戦略」の本市での取組と計画は。

答 実証圃場による技術支援や有機農産物の市内循環、有機米の学校給食への提供の仕組みづくりを検討する。

問 【みどり戦略】【オーガニックビレッジ宣言】等、国からの交付金を積極的に申請すべきではないか。また市独自のオーガニック推進条例を策定する考えは。

答 まだ機が熟しておらず、それらに係る計画に着手する段階であり、農家の自主性や意向等機運が調う中で検討。

問 環境保全型農業や公共調達のための学校給食への導入等、全国成功事例の共通点はトップダウンにある。農家と行政を結ぶ推進協議会が必要では。

答 協議会ありきでなく、まずは実証圃場を通じてその後座談会等を開催し、

協議会設立につなげていきたい。

問 山木遺跡、パン祖等歴史観光で有機のまちづくりを目指してはどうか。

答 そういふアイデアは考えてみたい。

問 地元有機農産物を学校給食に導入し、移住も増加している先進事例がある。本市での学校給食等への導入の課題は。

答 生産量の増産、品質の均一化、助成措置など協議していく。

問 パートナーシップ事業で小学生が有機大豆の栽培から味噌や豆腐作りまで体験している。有機のまちづくりは農林課だけでなく、全庁的に取り組むべきではないか。

答 市役所内で横断的にプロジェクトチームを作り検討する必要があると考える。

問 化学肥料等の高騰や、温室効果ガス削減にも有機農業を普及すべきでは。

答 自然環境、生物多様性、脱炭素等に有効な環境保全型農業を進めていく。



令和5年第1回(3月)伊豆の国市議会定例会

令和5年第1回(3月)議会定例会は2月27日から3月23日までの25日間で行われ、条例の制定や改正、当初予算等について審議及び審査しました。

全会一致で可決された議案

議案	議案の名称等	
条例制定	議案第1号	伊豆の国市市民憲章審議会条例の制定について
	議案第2号	伊豆の国市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について
条例改正	議案第4号	伊豆の国市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第5号	伊豆の国市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第6号	伊豆の国市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第7号	伊豆の国市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第25号	伊豆の国市消費生活センターの組織及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
予算	議案第21号	令和5年度伊豆の国市楠木及び天野揚水場管理特別会計予算
	議案第23号	令和5年度伊豆の国市簡易水道事業会計予算
補正予算	議案第8号	令和4年度伊豆の国市一般会計補正予算(第10号)
	議案第9号	令和4年度伊豆の国市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
	議案第10号	令和4年度伊豆の国市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
	議案第11号	令和4年度伊豆の国市介護保険特別会計補正予算(第3号)
	議案第12号	令和4年度伊豆の国市水道事業会計補正予算(第2号)
その他	議案第15号	静岡地方税滞納整理機構規約の一部を変更する規約について
	議案第16号	伊豆の国市指定金融機関の指定について
同意	議案第13号	伊豆の国市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について
	議案第14号	伊豆市伊豆の国市外1組合公平委員会委員の選任の同意について
議員提出	委提第1号	伊豆の国市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

賛成多数で可決された議案の賛否一覧

議案番号等	議案の名称	審議結果	山口貴子	長谷川浩	山本昭彦	井川弘郎	高橋隆子	森下茂	笹原恵子	八木基之	二藤武司	小澤五月江	柴田三敏	天野佐代里	古屋鋭治	田中正男	三好陽子	鈴木俊治	内田隆久	
議案第3号	伊豆の国市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第17号	令和5年度伊豆の国市一般会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第18号	令和5年度伊豆の国市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第19号	令和5年度伊豆の国市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第20号	令和5年度伊豆の国市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第22号	令和5年度伊豆の国市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第24号	令和5年度伊豆の国市下水道事業会計予算	可決	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※○印は賛成、×印は反対 ※議長(内田隆久)は、採決に加わらない。(一印)

令和5年第1回(4月)伊豆の国市議会臨時会

令和5年第1回(4月)議会臨時会は4月28日の1日間で行われ、条例の改正、補正予算等について審議し、全ての議案が全会一致で可決されました。

議案	議案の名称等	
承認	議案第27号	専決処分の報告及び承認について(伊豆の国市国民健康保険税条例の一部改正)
条例改正	議案第28号	伊豆の国市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
補正予算	議案第29号	令和5年度伊豆の国市一般会計補正予算(第1号)
その他	議案第30号	動産の買入れについて(消防ポンプ自動車)
同意	議案第31号	伊豆の国市教育委員会委員の任命の同意について
	議案第32号	伊豆の国市教育長の任命の同意について
	議案第33号	伊豆の国市監査委員の選任の同意について

議会の動き

- 【1月】 19日 議会全員協議会、議会だより特別委員会
- 【2月】 3日 情報通信機器導入特別委員会
- 17日 議会運営委員会、議会全員協議会、情報通信機器導入特別委員会
- 22日 議会全員協議会
- 27日 令和5年第1回(3月)定例会開会(2月27日から3月23日)

- 【3月】 2日 議会運営委員会
- 3日 福祉文教環境委員会
- 6日 総務産業建設委員会
- 7日 福祉文教環境委員会
- 8日 総務産業建設委員会
- 15日 情報通信機器導入特別委員会
- 20日 議会全員協議会
- 22日 議会運営委員会
- 23日 令和5年第1回(3月)定例会閉会
- 【4月】 10日 議会運営委員会
- 21日 議会全員協議会、議会運営委員会
- 28日 令和5年第1回(4月)臨時会
- 【5月】 11日 議会全員協議会
- 11日・16日・17日 議会だより特別委員会

■ 次回議会の予定 【令和5年第2回(6月)議会定例会】

- 6月 8日(木) 議会初日
- 6月 9日(金) 一般質問初日
- 6月 30日(金) 議会最終日

正式な日程は、定例会前に開かれる議会運営委員会で決定し、市ホームページに掲載します。議会初日・一般質問・議会最終日は、インターネットによる生中継の映像配信を行います。

※6月定例会から「FMいずのくに」によるラジオ生放送は行いませんのでご承知ください。